

宮小3年 6月3日りんごの摘果

宮宿小学校
地域活動推進員
古田 雅子

摘果

りんごの実を間引く作業を「摘果」といいます。ひとつひとつの実に養分を行き届かせて、大きくて美味しいりんごを育てるためには欠かせない作業です。全ての実をつけたままだと、大きくならないだけでなく、木がつかれてしまい、翌年の収穫量にも影響してしまいます。

中心果を残して、周りの実を落とすよ



摘果した実をたくさん集めたね！何に使うのかな？



よろしくお願いします！



広げた手はりんごの枝と同じ。先の方よりも、肩(幹)に近い部分が重くなってもふんばれるよね。りんごも同じで、枝先よりも幹に近い方に実をつけるといいんだよ。

高所作業車体験

脚立が届かない高い場所は、高所作業車を使って作業をするそうです。ボタンで操作できて、脚立のように昇り降りしなくて済むので楽です。今回は特別に乗せてもらいました。



わー！
楽しそう！



今回も笑顔で迎えてくださった菅井さん。摘果作業について、教えていただきました。りんごの実は1ヶ所に5個ついていて、真ん中の中心果を残して、他は落とすのだそうです。その後、全体の量を調整してさらに減らす必要があるそうですが、この時期は中心果の周りの摘果と枝先の新梢摘みだけで、もう少し実が大きくなった頃にもう一度全体量を見ながら摘果するそう。「みんなが木だったら、どこに実をつけるといいと思う？」と分かりやすく教えていただきました。高所作業車に乗せていただいたり、子ども達に分かりやすいように、楽しめるようにと工夫いただいたおかげで、楽しい時間を過ごすことができました！